

議第 25 号議案

75 歳以上の医療費負担の原則 2 割化を実施しないことを求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成 30 年 9 月 20 日提出

提出者	新座市議会議員	小野	大輔
賛成者	〃	高邑	朋矢
	〃	笠原	進
	〃	芦野	修
	〃	辻	実樹
	〃	石島	陽子
	〃	工藤	薫

提 案 理 由

75 歳以上の医療費負担の原則 2 割化を実施しないことを求めるため、この案を提出する。

## 75歳以上の医療費負担の原則2割化を実施しないことを求める意見書

2019年から後期高齢者医療（75歳以上）の医療費窓口負担を現行1割から2割にする論議が、経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度等審議会（財務省）で審議されています。社会保障審議会（厚生労働省）でも同様の審議が開始され、政府は来年の通常国会には法案を提出する予定です。

戦前・戦後を体験した高齢者は、日本経済の発展に寄与し、医療に安心してかかる制度に支えられ、世界一の長寿国を作り上げてきました。しかし、この間、公的年金の受給額が毎年減少するなどの影響もあり、一人暮らしの高齢者の約半数は生活保護基準を下回り、高齢者世帯の27%が貧困状態に陥っています。

僅かな貯蓄を取り崩して日々の生活を送っている高齢者も多い中、窓口負担が2倍に増えれば、受診をためらい症状が悪化し、結果的に医療費が増大する結果となりかねません。

よって、高齢者の生活と健康に大きな影響を与える医療費窓口負担2割化を実施しないことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

財務大臣 様

厚生労働大臣 様